

第1回大磯町スポーツ健康会議 書面会議の結果

書面会議資料確認依頼期間：令和4年3月8日～3月18日

1. けんこうプラン大磯進行管理書（案）【令和2年度】について

○OH27～R元とR2の数値を同じように比べられないと思うが、児童・生徒の肥満の割合が増えていることが気になった。

○コロナ禍であっても、様々な事業が工夫しながら実施されている様子が伝わった。

○最初のページに「事業進行状況」がまとめられており、各ABCの評価数が表になっていますが、令和2年度はcovid-19の影響を大きく受けて、事業展開できなかったことが多いため、欄外などにその説明があってもよいのでは・・と思いました。（一覧表の総括だけを見ると「現状維持に留まる」や「未着手」等が多く、マイナスの印象を受けます）

以降のシートには理由が記載されていますが、「まとめ」で表だけでなく説明を加えて良いのではないかと思います。ご検討ください。

→進行管理書の改訂等を含め、次期計画で検討していきます。

○対面での会議が開けなかったことはやむを得ないとしても、書面会議の時期をもっと早くしてほしかったと思います。これでは、次年度の事業への十分なfeedbackができないのではないのでしょうか。新型コロナ感染症のために多くの事業計画に影響を受け、担当課、事業者も大変であった事がよく理解できました。事業計画の評価がされていますが、開催不可、十分にできなかったと思われる事業が散見されますがBという評価となっているものもあります。今回の資料のみではその実態はわかりませんが、本来であればCと評価し、次年度どうすれば良いのか方策をたてるべきではないのでしょうか。客観的な視野に立ち評価を行い、修正すべきところは修正し次年度に役立てることが必要と考えました。

○成人歯科健診についてですが、令和2年度から口腔がん検診がオプションで追加されています。口腔がん検診のデータも記載をお願いします。

→データを記載いたします。

○まず町としてこれだけの活動を実施していること、その結果として膨大なまとめ資料にびっくり、正直途中で読むことをやめてしまい、関連ある項目のみに目を通しました。これほどの量をまとめ上げる職員の皆様の大変さを感じましたし、もっと簡潔明瞭でもいいのでは・・。せめて一団体一枚くらいで・・。結果お互いを感じながら少しずつでも前向きに取り組んでいける、そんな関係性、町づくりが（肩の力が抜ける感じで）いいですね。

○紙でのやりとりは、郵送、回答、集計とお互いに負担が重いので、入力回答方式を希望し

ます。

→検討いたします。

○コロナ禍で集客イベントが極端に制限され、令和2年度は思うような活動ができなかった結果が表れていて、催行側の苦悩を思うと、こちらも苦しくなってきます。コロナのせいにするのは簡単ですが、もう丸2年です。そろそろ「できる方法」が見つかってよい気がします。昨年夏、コーヒーメーカーのZOOMカフェ講座に参加しました。事前に資料や材料が送付され、当日はPC画面を見ながらの座学、実践があり、期待以上に楽しめました。調理教室、海の教室、チャレンジフェスタなどなど、このままフェイドアウトさせるのはもったいなさすぎるので令和4年はなんとしてもイベントを復活させてほしいです。

→新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、感染対策を徹底しながら、開催方法を検討していきます。

○目標に具体的な数値目標（事業の対象数、参加者数、参加・受診率など）があると、評価が行いやすく、目標への達成度も見えやすくなるかと考えます。（P4, P5, P6, P7, P28, P30, P32, P33, P38 他）

○令和2年度はコロナの影響で中止となった事業で、評価がBの場合とCの場合があります。コロナによる中止が影響している場合、評価の考え方は揃えた方がよいと考えます。（P11, P13, P16, P27 他）

{ ○目標値を上回る実績がある事業で、評価がBとなるのはどのような理由でしょうか。（P9, 14, 17 他）
○コロナ禍で未実施の項目の評価「B」と「C」の違いは？

→各担当課での評価となるため、同じ結果でも同じ評価となっていない場合があります。スポーツ健康課でとりまとめをする際に一定の基準となるようヒアリングを行ってまいります。

○目標値を前年度の実績値に設定としている事業は、目標値が前年度を下回ることが生じます。施策の方向性と目標値の整合性はどのようにお考えでしょうか。（P34）

→次期計画では、施策の方向性やそれに対する一定の目標値にズレが生じないように進行管理書の改訂をするなど検討してまいります。

○コロナの影響が強く、全体的に町事業そのものに参加する町民が少なくなっていると感じる。コロナの収束が見えない中、町民参加をどう考えるか、また、参加できるような形態を検討する必要がある。

→令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、町民参加型の事業が中止や延期になっています。今後は、ウィズコロナ、アフターコロナを考慮し、各事業の開催方法を

検討する必要があると考えております。

○スポーツ表彰と教育委員会の文化スポーツ表彰との関係は？

→教育委員会の文化スポーツ表彰については、大磯町公立学校の児童生徒等で他の模範と認められる行いをした者又は文化、スポーツ活動等において、特に優秀な成績を収めた者となっており、スポーツ表彰は、町内在住、在勤、在学する者は又は町内に所在するスポーツ団体に所属する者がスポーツの競技会等において優秀な成績を収めた者や本町のスポーツの発展に寄与した者を対象としています。ただし、スポーツ表彰の対象には教育委員会の文化スポーツ表彰を受けたものを除きます。

○成人歯科健診の歯周病率 60%の意味は？

→けんこうプラン大磯策定時の歯周病率が 68%となっており、実現可能な数値として目標設定をしているため、60%としています。

2. けんこうプラン大磯の計画期間の延長及び（仮称）第2期けんこうプラン大磯の策定期間の延長について

○この状況下ですので、期間延長に賛同いたします。

○制限が多くなった生活が2年以上も続き、今までの啓発活動ができなくなった状態で、調査内容の比較が同じようにできるのか伺いたい。

→（仮称）第2期けんこうプラン大磯では、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、策定する必要があると考えております。そのため、状況に応じた各項目の比較ができるよう検討していきます。

○特に問題ありませんが、町としての方針、方策を基本にされていると思いますが、なかなか国策が見えないために大変かと思います。町民の方へのご理解等の方向性などはやはり行政が行わないと難しいところだと思います。

○令和2年度、令和3年度に出来なかったことを令和4年度の計画に活かさなければ延長の意味が薄れてしまいます。それを踏まえ第2期の計画の策定をお願いします。

○現状では致し方なしですね。

以上